

事前評価報告書

令和 4 年10月3日 (月)

研究種別	総理研課題	
研究課題名	ICTを活用した肥育豚の体重推定及び個体識別技術の開発	
研究期間	令和5年度～令和7年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.3
2	研究内容の新規性	3.5
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.3
4	研究体制、研究予算の妥当性	3.3
	総合評点	3.3
[評価所見]		
<p>ICT活用による生産性向上は、他分野でも重要なテーマであり、県内の養豚農家における省力化、高付加価値化につながる研究である。体重推定及び個体識別技術の必要性が理解できた。</p> <p>カメラ画像を用いた豚の個体管理手法の開発に新規性がある。特に個体の行動識別によって疾病が判断できれば、素晴らしいシステムになる。</p> <p>研究の目標が数値化されている点は評価できる。システムメーカー、産技センターとの連携も必要があると感じた。</p> <p>研究体制、予算の配分は適切である。</p> <p>本県の養豚は、数十年に及ぶ米国アイオワ州との交流の中で育まれてきたので、県民の関心も高いと考えられる。安価なシステムが実現されることを期待する。</p>		